

令和6年度北本市地域包括支援センター運営状況（評価指標一覧）地域包括支援センター指標

	東	西	寿	社	交付金対象	評価指標について ○ 設問の基準を満たしていた。 △ 設問の一部に基準を満たさないものがあった。 × 設問の全て基準を満たさなかった。
--	---	---	---	---	-------	--

● 1. 地域包括ケアシステムの構築・推進						
(1)市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する。	○	○	○	○	△	

● 2. 組織・運営体制						
(1)センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う。	△	△	△	△	△	△とした理由と今後の対処 センター長等の役割を文書で明確に示し、職員に明示していますか。 →今後関係者と協議し、文書作成する。
(2)センター職員の人材確保および育成を図る。	○	○	○	○	△	
(3)市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する。	△	△	△	△	△	△とした理由と今後の対処 センターに対する利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントに適切に対応する体制をセンターとして整備していますか。→今年度より設定された指標である。今後協議し、整備していく。
(4)中間アウトカム指標☆ センター職員の定着率	○	○	○	○	○	地域包括支援センター職員の定着率（R7.4月末時点） 東センター80% 西センター83.33% きたもと寿苑=100% 社協包括100%

● 3. 総合相談支援事業						
(1)地域包括支援ネットワークを構築する。	○	○	○	○	該当	
(2)市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす。	○	○	○	○	該当	
(3)家族介護者支援に取り組む。	○	○	○	○	該当	
(4)複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する。 新規	○	○	○	○	該当	
(5)総合相談事業の負担感	○	○	○	○	△	
(6)総合相談事業の一部委託	△	△	△	△	△	
(7)アウトプット指標*高齢者福祉分野以外の機関からの照会件数	△	△	△	△	△	△とした理由と今後の対処 高齢者福祉分野以外からの照会について行っているが件数把握をしてこなかった。関係者との協議と、システムの一部編集を行う。
(8)アウトプット指標* 1年間の相談件数	○	○	○	○	△	
(9)アウトプット指標* 支援を拒否する高齢者等へのアウトリーチのケース数	△	△	△	△	△	△とした理由と今後の対処 件数の計上を行ってこなかった。関係者との協議と、システムの一部編集を行う。

● 4. 権利擁護事業						
(1)高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う。	○	○	○	○	該当	
(2)アウトプット指標* 権利擁護に関する相談件数	○	○	○	○	△	
(3)アウトプット指標* 成年後見制度の申立て支援件数	○	○	○	○	△	

● 5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業						
(1)担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う。	○	○	○	○	△	
(2)市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う。	○	○	○	○	該当	
(3)アウトプット指標* 介護支援専門員からの相談受付件数	○	○	○	○	該当	

● 6. 地域ケア会議						
(1)センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる。	○	○	○	○	該当	
(2)地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する。	○	○	○	○	該当	
(3)アウトプット指標* センター主催の地域ケア会議を経て、市町村レベルの地域ケア会議に地域課題を報告した数	○	○	○	○	該当	

● 7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援						
(1)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する。	○	○	○	○	該当	
(2)中間アウトカム指標☆ 介護予防ケアマネジメント対象者のうち状態が維持または改善した人の割合	△	△	△	△	△	△とした理由と今後の対処 状態の維持改善に関する指標の未整備→関係者との協議と、システムの一部編集を行う。

● 8. 包括的支援事業（社会保障充実分）						
(1)事業間連携を推進する。	○	○	○	○	該当	在宅医療介護連携、認知症初期集中支援チーム、地域支援コーディネーターとの連携について
(2)アウトプット指標* 医療関係者と合同の事例検討会や勉強会の実施数	○	○	○	○	△	

● 9. その他（センターにおける取組等）						
(1) 業務継続計画（BCP）の策定等	○	○	○	○	△	

\*アウトプット指標とは、事業や活動によって「どれだけの量や内容の成果（成果物）が生まれたか」を表す数値や項目です。地域包括支援センターであれば相談対応件数、介護予防教室の開催回数、ケアプラン作成件数、地域ケア会議の実施回数 などとなります。

☆アウトカム指標は、事業や活動を行った結果として、「どんな効果や変化が利用者や地域にもたらされたか」を示す数値や項目です。活動の成果が実際に利用者や社会にどんな価値や結果をもたらしたかを測定します。高齢者の自立度の向上（要介護度の維持・改善）、利用者や家族の満足度、相談後の生活状況の改善、虐待や孤立の減少、介護予防教室参加者の健康状態の改善などが例となります。